

編集後記

本誌は、広島県佐伯郡湯来町みち学荘（広島YMCA）に於ける1985年表現論シンポジウムの講演記録です。この研究集会は、科研費総合A（村松寿延代表、清水義之分担責任者）に基づき、広島大学の橋爪道彦氏の御世話で、11月6日から11月9日迄行なわれました。佐野氏のStrasbourg留学のため、先回に引き続き、青木・加藤が編集事務を担当しました。十分な時間的余裕を差上げられなかったという不手際にもかかわらず、心よく原稿を寄せられた講演者各位に御礼を申し上げます。

表現論シンポジウムのメンバーであり、本報告集I, IVの執筆者でもある大島利雄氏が、彌永賞を受賞された事は、喜びの念に絶えません。特にお願いして御執筆頂いた杉浦先生の〈大島利雄氏の仕事について〉に論えリスト（雑誌「数学」より転載）を添えて巻末に掲載し、細やかな受賞記念と致します。

最後に、本報告集の発行責任を負担された職業訓練大学校数学教室、御配慮を頂いた同大学校長浅枝敏夫先生に感謝致します。

青木茂，加藤末広 記